

2022年8月14日
礼 拜

聖書

マタイ福音書16章21～28節

16:21 その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえらなければならないことを弟子たちに示し始められた。16:22 するとペテロは、イエスを引き寄せて、いさめ始めた。「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」

16:23 しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

16:25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。

16:26 人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がきましょう。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。

16:27 人の子は父の栄光を帯びて、御使いたちとともに、やがて来ようとしているのです。その時には、おのおのその行ないに应じて報いをします。

16:28 まことに、あなたがたに告げます。ここに立っている人々の中には、人の子が御国とともに来るのを見るまでは、決して死を味わわない人々がい
ます。」

説教
十字架を負って。

福音書の中からペテロの信仰の歩みをたどっています。前回は「あなたは生ける神の子、キリスト」とペテロは素晴らしい信仰の告白をしました。

このペテロの信仰告白を受けて
イエス様はペテロに語られました。

わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。

16:19 わたしは、あなたに天の御国のかぎを上げます。何でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれており、あなたが地上で解くなら、それは天においても解かれています。」

「イエスはキリスト、救い主」という信仰告白なる
岩の上に教会が建てられる約束がされました。
イエス様を信じることで誰でも天国に入ることの
できる天国のカギがペテロを代表とする使徒たち、教
会にゆだねられる約束がされました。

16:20 そのとき、イエスは、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない、と弟子たちを戒められた。

16:21 その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえらなければならないことを弟子たちに示し始められた。

イエス様は初めて受難の告知をされました。

このイエス様の受難の告知に
「するとペテロは、イエスを引き寄せて、
いさめ始めた。

主よ。神の御恵みがありますように。
そんなことが、
あなたに起こるはずはありません。」

このペテロの対応にイエス様は

「振り向いて、ペテロに言われた。下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを
思わないで、人のことを思っている。」

下がれサタンと大変厳しい最大級の言葉で
ペテロを叱っておられます。

16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。

16:25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。

16:26 人は、たとえ全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。

イエス様はメシヤの本当の姿を教えておられます。
十字架の道を歩むメシヤ・キリストの姿を
ペテロに教示しています。

ペテロは「あなたは生ける神の子、キリスト」と素晴らしい信仰の告白をしました。

でもその時のペテロのメシヤ像キリスト理解は十分ではありませんでした。

ペテロにとっても、また、私たちにとってもメシヤの姿、キリストのお姿を正しく正確に健全に理解していくことが信仰生活の歩みです。

イエス様ってどんなお方。

イエス様について行く、従っていくことはどんなこと、

この理解を毎週の礼拝を通して、

また毎日のデボーション、聖書の通読を通して

深めていくこと、真実な理解に近づくことが

信仰の歩みであります。

ペテロも少しずつ、一步一步イエス様に叱られ、失敗を繰り返しながらメシヤ、イエス様を知り続けていきました。

この時のペテロのメシヤ像は不十分でした。

嵐を鎮めるイエス様、

パンを下さるイエス様、

不思議な大漁を与えるイエス様。、

病をいやすイエス様

十字架におかかりになるイエス様はまだまだ

理解できていません。

当時のユダヤ人の持っているダビデを理想化したような軍事的、政治的、力の救い主。
イスラエルを軍事的政治的経済的にローマの植民地支配から救い出すメシヤ像から脱却していません。

罪という病をいやすイエス様、
サタンの攻撃、誘惑、惑わしという
嵐を鎮めるイエス様、
そのために私たちの罪の刑罰を十字架で身代わりに
受けることを通して人類を救おうとしているイエス様を
理解していませんでした。

ペテロがこの不十分なメシヤ像を人に語ると
間違ったメシヤ像になるので

16:20 そのとき、イエスは、ご自分がキリストであることを
だれにも言ってはならない、と弟子たちを戒められた。

ペテロの問題点

十字架と復活を通して民を救うメシヤがわかっていなかった。

ダビデ的強いメシヤ像に縛られていた。

16:21 その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえらなければならないことを弟子たちに示し始められた。

16:22 するとペテロは、イエスを引き寄せて、いさめ始めた。「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」

16:23 しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。
「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。
あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」
ペテロに向かって「下がれ、サタン」と最大級の厳しい激
しい言葉でペテロを叱責しています。

この「下がれ、サタン」という言葉をイエス様は
荒野の誘惑の時に、サタンに向かって命じておられます。

メシヤとしての歩みを始められたイエス様への
サタンの挑戦です。

この石がパンになるように命じなさい。

神殿の塔から飛び降りなさい。

すべての栄華繁栄を手に入れ用いなさい。

人々が求めているメシヤとして
パンによる満足、力、軍事力でローマと戦う、
繁栄栄華を与えるメシヤになりなさい。
人々はこんなメシヤを期待しています。

「下がれ、サタン」と厳しく語られました。
この一言でサタンは荒野のイエス様のところから離れて
いきました。

パンの力で人々の欲望を満たすことによる救い
神殿から飛び降りてもケガしない
肉体力、科学技術力、軍事力による救い。
繁栄栄華という経済力の救いを
サタンは提案しました。

イエス様は「下がれサタン」と否定されました。
神を抜きにしてこれらを求めるところに問題のあること
を教えておられます。

イエス様は十字架の道を語られました。
十字架の道を通してメシヤの御業をしようとする
イエス様に対して「主よ、とんでもないことです。」と
十字架の道を否定したペテロに
「引き下がれサタン」と厳しい言葉をかけています。

力の魅力、食料品の豊かさ、経済繁栄栄華を求めるのはエデンの園でアダム、エバを、賢くなる、美しくなるという欺いたサタンの働きと共通しています。サタンの誘惑に共通するメシヤへの期待がいささかでもあったのを見抜いてイエス様はペテロを厳しく叱責されました。

あなたは生ける神の子キリスト
この信仰に生きる道は徹底的に主を信じ信頼する
こと。

主は力をお持ち、パンを与えることのできる方。

でもその力を信じ頼るのではなく
イエス様ご自身を信じ、
主の愛、守りを信じてゆだねる生き方です。

イエス様はご自身を「人の子」と呼んでおられます。
神の子でありますが、神の栄光を捨てて、この世
界に来て、貧しいマリヤ、ヨセフの家庭で育てられ、
私たちと全く同じように人の子になってくださいました。

新聖歌99(讃美歌121)

馬槽の中に 産声上げ

大工の家に 人となりて

貧しき憂い 生くる悩み

つぶさになめし この人を見よ

イエス様はわたしたちと全く同じ姿になってください
ました。ヘブル4:15

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない
方ではありません。罪は犯されませんでした。が、す
べての点で、私たちと同じように、試みに会われた
のです。

ピリピ2章5～8節

キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、

2:7 ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、
2:8 自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

ここに徹底的な父なる神様への信頼があります。この
信頼、信仰ゆえ
父なる神の御心を知って
イエス様は徹底的に父なる神に従って十字架の道を
歩まれました。

16:24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。

16:25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。

自分を捨てることは、有限な自分の力に頼ったり
信じたり依存すること、また縛られたりすることを
捨て解放されることです。ペテロは舟も網も捨て
てイエス様に従いました。さらに自分を捨てて主
に全き信頼するチャレンジの時です。

主に信頼して歩むことを主は勧めています。
十字架を負うということは、主が与えてくださった
御心の道を、主を信頼して、主に力を求めつつ
歩むことです。

16:25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。神様に頼らないで自分で自分の命を救おうとするもの、守ろうとするもの、生きようとするものは神様の豊かないのちの人生を失います。主を信じて自分で自分の人生をいのちをコントロールすることをやめ、支配権を主に委ねて放棄するものは豊かな命を生きる約束があります。

明日はどんな日か私は知らない。
晴れか、嵐か、曇りになるか。
私は明日を心配しない。
イエスが私を守られるから。
明日は私にはわからないけど
明日を守られるイエスがおられる。

私たちのために十字架の道を歩まれるイエス様
に感謝、礼拝をささげましょう。
私たちも、主を信じ、主に委ねて、
与えられた十字架を負って
主に喜んで従っていきましょう。

祈り